

Expresswayのトラブルシューティング：2022年1月28日にSSL証明書の失効を暗号化しましょう

内容

[概要](#)

[問題](#)

[解決方法](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、2022年1月28日にCisco Expressway Let's Encrypt revocation of Secure Sockets Layer(SSL)証明書を更新する方法について説明します。

問題

Expressway x 12.5を起動すると、ExpresswayはAutomated Certificate Management Environment(ACME)による証明書の生成をサポートします。

「Let's Encrypt's certificate authority's implementation of "Transport Layer Security (TLS) with the Application-Layer Protocol Negotiation (ALPN)" validation method」に不正が見つかりました。検出された不正を修正するために、変更はLet's Encryptサイトに実装されます。

修正が導入された2022年1月26日の00:48 UTC以前にTLS-ALPN-01チャレンジで発行および検証されたすべてのアクティブな証明書は、誤発行と見なされます。

証明書の暗号化ポリシーに従うには、特定の条件下で5日以内に証明書を無効にする認証局が必要です。このポリシーを遵守するには、2022年1月28日16:00 UTCに証明書を取りり失効する必要があります。Expresswayで通知電子メールが設定されている場合、ACMEから電子メールが受信されている必要があります。

解決方法

Expresswayで、リンクの手順を参照してACME証明書を更新します。ネイバー/トラバーサルゾーン、コールセットアップの失敗、またはMobile and Remote Access(MRA)クライアントのログインに失敗した場合。

関連情報

- [2022.01.25 TLS-ALPN-01検証方式の問題](#)
- [暗号化は、2日間で多数のSSL証明書を取り消します](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント - Cisco Systems](#)